

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (298)

話し手と聞き手

タモツ君のお母さんがタモツ君のおばあさんと話しています。

「そのとおり。和子さんが話し手で私が聞き手。今は、私が話しているから、私が話し手で和子さんが聞き手。」

「ええ。話し手の私が聞き手のお義母さまにお話しするというと、「お話しする」という謙譲語は、話し手の私が聞き手のお義母さまを高めることになるのですよね。」

「そこがちがうのね。話し手のあなたが「話す」客体の私を高めることになるの。」

「話し手の私が「話す」客体のお義母さまを、ですか。」

「そう。話し手のあなたが聞き手の私に「お話しする」というのは、「和子さんが私にお話しする。」ということで、話題の人物の和子さんが話題の人物の私に「お話しする」ということになるの。「話す」の主体が和子さん、「話す」の客体が私。」

